

日本歯科色彩学会
発行人 久光 久

第15回日本歯科色彩学会総会・学術大会を終えて

色彩は現在歯科で注目されている分野で、他の学会を見渡しても、色彩に関連する演題が急増しているように感じられます。このような中で本学会の果たすべき役目は大きく、今後も歯科の色彩のイニシアティブを発揮していく事と思います。このような時期に大会を主管し、運営出来たことは大きな喜びでした。

さて、7月21日(土)、22日(日)、鶴見大学歯学部第一歯科保存学教室主管で、第15回日本歯科色彩学会総会ならびに学術大会を開催いたしました。口頭発表7、ポスター発表11と多くの演題に恵まれ、内容も歯科の色彩の基礎的研究から臨床に直結する応用研究まで幅広く、学術的にも興味深いものであり、歯科の色彩の発展に大会運営を通じて貢献できたことに喜びを感じております。また、本大会より、待ち望まれていた認定士講習会を併催いたしました。必修コース(元呑昭夫先生)、応用コース(片山伊九右衛門先生)の2講習ともに、定員50名の会場が満席となる盛会でした。

7月21日の懇親会は予定より多くの参加者がお越しくださり、まさに満員の状態でした。8年間にわたり会長を引き受けてくださった片山伊九右衛門先生に対して、久光久新会長の発案で、喜寿の祝いをおこなって行いました。細矢副会長から花束贈呈、桃井大会長から記念品贈呈、そしてバースデーケーキのロウソク消しなど。来年の岐阜での再会を誓って終了しました。

末筆ながら本大会を盛会のうちに開催できましたことに対し、久光久会長、片山伊九右衛門前会長ならびに役員の方、また、会員の皆様へ感謝の意を表したいと思います。有り難うございました。

鶴見大学歯学部第1歯科保存各教室

大会長 桃井保子
大会準備委員長 池島 巖



ポスター会場



第15回総会

第6回中華口腔色彩・審美学術検討会のご案内(折込があります)

奮ってご参加ください。診療室の皆様・ご家族様歓迎します。

日時：2007年12月1日2日 中国広州市 南方医科大学会議場

発表：口頭発表に限る。ポスター発表はありません。詳しくは参加希望者に。

世話人：参加申込者は片山伊九右衛門まで、10月20日までに連絡ください。

電話・FAX 049-294-5429 メール ikuemon@fb3.so-net.ne.jp

第16回日本歯科色彩学会総会・学術大会

大会長 山本宏治 朝日大学歯学部教授

準備委員長 堀田正人 朝日大学歯学部准教授

場所：岐阜市文化産業交流センター（じゅうろくプラザ岐阜）

日時：2008年7月26日(土)、27日(日)

特別講演1：26日16:30-17:30

「高齢者と色彩」

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

准教授 原田昌幸先生

総会：27日11:30-12:00

特別講演2：27日10:30-11

「色彩が与える心理・行動・生理的影響」

名古屋大学環境学研究科

准教授 高橋晋也先生

懇親会：26日18:00-20:00(岐阜シティタワー43 スカイラウンジ)

一般発表は後日お知らせいたします。奮って応募ください。

総務関係報告

1. 会員数について（平成19年7月7日現在）

総数：232名、10社 一般会員：229名（平成19年3月末220名）

名誉会長：1名 名誉会員：2名

賛助会員：9社（平成19年3月末11社）会費免除賛助会員：1社

2. 会員動向（平成18年4月1日～平成19年7月7日）

新入会員：37人（平成18年度は28名、19年4月以降9名） 退会会員：5人

3. 2006年度会費納入率84%（完納者数188名）

2007年度会費の納入者数132名（平成19年7月7日現在）

2007年度賛助会費納入社数9社 納入率100%

4. 会費未納者数 33名

1年未納者数 15名 2年未納者数 9名 3年未納者数 9名

5. 会務

平成19年1月17日 平成18年度 第2回常任理事会（昭和大学病院入院棟17階第2会議室）

平成19年6月28日 平成19年度 第1回常任理事会（昭和大学歯科病院2号棟1階第1会議室）

平成19年7月21日 平成19年度 第2回常任理事会（鶴見大学会館 3階 第1会議室）

平成19年7月21日 平成19年度 理事会・評議員会（鶴見大学会館 3階 第2会議室）

平成19年7月22日 平成19年度 総会（鶴見大学会館）

6. 学際交流

平成19年6月8日：日本顎咬合学会25周年記念祝賀会に池見副会長が出席。

平成19年6月30日：日本歯学系学会協議会2007年度総会に元呑副会長が出席。

日本歯科色彩学会 平成19年度 総会議事録（案）

日時：平成19年7月22日（日） 9:30～9:55 場所：鶴見大学会館

I. 開会の辞（細矢副会長）

II. 大会長挨拶

桃井大会長より挨拶があった。

III. 会長挨拶

久光会長より挨拶があった。

IV. 議長、議事録署名人選出

議長に永井茂之評議員、議事録署名人に岩崎覚理事、新海航一理事が選出された。

V. 平成18年度総会議事録確認（別紙参照）

VI. 報告事項（会長より一括して報告があった）

1. 総務・庶務報告
2. 財務報告
3. 編集委員会
4. ニュースレター
5. ホームページ委員会
6. 講習会委員会
7. 見学会委員会
8. 認定士委員会
9. 会則検討委員会
10. 第15回学術大会
11. 第16回学術大会（平成20年7月26・27日岐阜文化産業交流センター、大会長：山本理事）
12. 名誉会員の推戴（会則4条3項により生田先生が推戴された）
13. その他、12月1・2日に中国広州で第6回国際口腔色彩審美学会が開催される
（大会長：呉補領前第四軍医大学口腔医学院牙体牙髓学主任教授、現南方医科大学口腔科主任教授、準備委員長：北京大学人民医院口腔科主任醫師高承志、本会理事）

VII. 一般発表優秀・優秀論文者表彰式

天野義和第14回学術大会長（代理：佐々木重夫準備委員長）から、一般発表優秀賞は、木暮ミカ氏ほか 明倫短期大学「彫刻用ワックスの色調による眼調節機能変化について」、竹内 操氏ほか 奥羽大学歯学部「テンポラリークラウン製作用重合レジンの色調変化」、片山 直優秀論文選考委員長から岡正信氏（代理：堀田正人氏）ほか 朝日大学歯学部「コンポジットレジンの半透明性」で各人に表彰状が授与された。

VIII. 審議事項

1. 平成18年度本部会計決算案について
平成18年度本部会計決算案（別紙参照）が向山財務担当理事から上程された。
 2. 平成18年度認定士会計決算案について
阪認定委員長から平成18年度認定士会計決算案が上程された。
 3. 監査報告
神津監事の監査報告後、平成18年度本部会計決算案、平成18年度認定士会計決算案が承認された。
 4. 平成19年度事業計画案について
久光会長から説明があり（別紙参照）、平成19年度事業計画案が承認された。
 5. 平成19年度本部会計予算案について
平成19年度本部会計予算案（別紙参照）が向山財務担当理事から上程され、承認された。
 6. 平成19年度認定士会計決算・予算案について
平成19年度認定士会計決算・予算案（別紙資料）が阪認定委員長から上程され、承認された。
 7. 追加役員推薦の件
新理事として倉知正和、高 承志、海老原隆（敬称略）の3名が報告され、
新幹事として星野睦代、玉岡慶鐘（敬称略）の2名が報告された。
評議員として西村耕三、白石 充、池島 巖（敬称略）の3名が推薦され、承認された。
 8. 投稿規定の改定案
投稿規定の改定案について池見編集委員長から説明があり、承認された。
 9. ホームページ事業計画案について
ホームページ事業計画案について元呑ホームページ委員長から説明があり承認された。
 10. その他、会則第8条1項により3年以上会費未納者9名の除名処分が報告された。
 11. 次次期（第17回）の候補として新潟県の明倫短期大学が承認された。
 12. 平成20年11月21～23日に大阪国際会議場で開催される第4回国際技工学術大会（阪常任理事が企画運営委員長）を本会として後援することが承認された。
 13. 次回の総会は平成20年7月27日、岐阜市文化産業交流センターで開催されることとなった。
- IX. 次期学術大会準備委員長挨拶
朝日大学歯学部堀田正人次期大会準備委員長から山本大会長の代理として挨拶があった。
- X. 閉会の辞（元呑副会長）

2006 年度 日本歯科色彩学会 決算報告

2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日

歳入の部	科 目		2006 年度予算	2006 年度決算	増減(△は超過)	執 行 率	備 考
	款	項					
歳入の部	1、会費収入		2,095,000	2,650,000	△555,000	127%	
	1	1, 入会金	75,000	140,000	△ 65,000	187%	5,000×28 名
		2, 本年度会費	1,620,000	1,880,000	△260,000	116%	10,000×188 名(会員 223 名、納入率 84%)
		3, 過年度会費	100,000	240,000	△140,000	240%	10,000×24 名 (17 年度分 16 名 19 年度 2 名 その他 6 名)
		4, 賛助会費	300,000	390,000	△ 90,000	130%	30,000×13 社 (当該年度 11 社 過年度 1 社 次年度 1 社)
	2、事業収入		640,000	35,000	615,000	6%	
	1	1, 論文掲載料	400,000	0	400,000	0%	歯科の色彩 13 巻 1 号分は次年度に計上
		2, 広告掲載料	200,000	0	200,000	0%	歯科の色彩 13 巻 1 号分は次年度に計上
		3, 書籍販売等	40,000	35,000	5,000	88%	第 14 回学会非会員抄録登録料 5,000×7 名
	3、雑収入		45,000	30,237	14,763	67%	
	1	1, 著作・印税等	40,000	30,207	9,793	76%	学術著作権協会 14,149 クイント印税 16,058
		2, 雑入	5,000	30	4,970	1%	銀行利息 30
当期収入合計		2,780,000	2,715,237	64,763	98%		
前期繰越金		3,640,062	3,640,062	0	100%		
収入合計		6,420,062	6,355,299	64,763	99%		

歳出の部	科 目		2006 年度予算	2006 年度決算	増減(△は超過)	執 行 率	備 考
	款	項					
歳出の部	1、事業費		2,050,000	2,042,515	7,485	100%	
	1	1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	100%	第 15 回大会 鶴見大学 500,000
		2, 学会誌	1,000,000	1,306,830	△ 306,830	131%	歯科の色彩第 13 巻 1 号(14 号)
		3, ニュースレター費	70,000	69,935	65	100%	ニュースレター-41号23,325 42号23,625 43号22,985
		4, 調査研究費	80,000	65,750	14,250	82%	クイント 15,750 学術会議歯科系学会連絡協議会費 50,000
		5, わいぱーじ維持費	100,000	100,000	0	100%	
		6, 講習・見学会費	300,000	0	300,000	0%	本年度は開催なし
	2、管理費		670,000	568,733	101,267	85%	
	1	1, 会議費	60,000	64,625	△ 4,625	108%	理事会 40,000 編集委員会 24,625
		2, 交通費	150,000	76,500	73,500	51%	常任理事会 等
		3, 渉外費	50,000	10,000	40,000	20%	他学会会長出張 10,000
		4, 通信連絡費	210,000	223,540	△ 13,540	106%	ニュースレター郵送 58,930 雑誌郵送 97,300 その他振込み等 67,310
		5, 事務委託費	120,000	120,000	0	100%	事務局諸経費 10,000×12
		6, 事務費	80,000	74,068	5,932	93%	
	3、雑費		40,000	20,000	20,000	50%	他学会式典出席(会長) 20,000
	4、予備費		20,000	0	20,000	0%	
	当期支出合計		2,780,000	2,631,248	148,752	95%	
	当期収支差額		0	83,989	83,989	—	
	次期繰越金		3,640,062	3,724,051	83,989	—	

上記 2006 年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます

2007 年 7 月 21 日 神津 瑛 印 片山伊九右衛門 印

平成 19 年度 事業計画

1. 総会・学術大会の開催
2. 雑誌の発行
3. ニュースレターの発行
4. 会員の増強促進
5. 優秀論文、優秀研究発表の表彰
6. 認定士制度の充実
7. 講習会の充実
8. 色彩関係の研究所見学の施行
9. 歯科色彩学の啓蒙
10. 歯学部および歯科技工士専門学校、歯科衛

生士学校における歯科色彩学カリキュラム導入の促進

- 1 1. 国内、国外との学術交流の促進
- 1 2. その他

2007年度 日本歯科色彩学会 予算(案)

2007年4月1日~2008年3月31日

歳入の部	科 目		2006年度予算	2007年度予算	増減(△は減)	増減率(△は減)	備 考
	款	項					
	1、	会 費 収 入	2,095,000	2,095,000	0	0%	
		1, 入会金	75,000	75,000	0	0%	5,000×15名
		2, 本年度会費	1,620,000	1,650,000	30,000	2%	10,000×235名×70%
		3, 過年度会費	100,000	100,000	0	0%	10,000×10名
		4, 賛助会費	300,000	270,000	△ 30,000	△ 10%	30,000×9社
	2、	事 業 収 入	640,000	640,000	0	0%	
		1, 論文掲載料	400,000	400,000	0	0%	
		2, 広告掲載料	200,000	200,000	0	0%	
		3, 書籍販売等	40,000	40,000	0	0%	
	3、	雑 収 入	45,000	45,000	0	0%	
		1, 著作・印税等	40,000	40,000	0	0%	
		2, 雑入	5,000	5,000	0	0%	
		当期収入合計	2,780,000	2,780,000	0	0%	
		前期繰越金	3,640,062	3,724,051	83,989	102%	
		収入合計	6,420,062	6,504,051	83,989	101%	

歳出の部	科 目		2006年度予算	2007年度予算	増減(△は減)	増減率(△は減)	備 考
	款	項					
	1、	事 業 費	2,050,000	2,050,000	0	0%	
		1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	0%	
		2, 学会誌	1,000,000	1,000,000	0	0%	
		3, ニュースレター費	70,000	70,000	0	0%	
		4, 調査研究費	80,000	80,000	0	0%	
		5, ｻｲﾄﾞ維持費	100,000	100,000	0	0%	
		6, 講習・見学会費	300,000	300,000	0	0%	
	2、	管 理 費	670,000	670,000	0	0%	
		1, 会議費	60,000	60,000	0	0%	
		2, 交通費	150,000	150,000	0	0%	
		3, 渉外費	50,000	50,000	0	0%	
		4, 通信連絡費	210,000	210,000	0	0%	
		5, 事務委託費	120,000	120,000	0	0%	
		6, 事務費	80,000	80,000	0	0%	
	3、	雑 費	40,000	40,000	0	0%	
	4、	予 備 費	20,000	20,000	0	0%	
		当期支出合計	2,780,000	2,780,000	0	0%	
		当期収支差額	0	0	-	-	
		次期繰越金	3,640,062	3,724,051	83,989	102%	

2006年度 日本歯科色彩学会 認定士委員会決算報告

2006年4月1日～2007年3月31日

科 目	2006年度予算		2006年度決算		増減(△は超過)	執行率	備 考
	款	項					
1. 登録料収入		200,000		0	200,000	0%	
	1.	申請料	50,000	0	50,000	0%	
	2.	登録料	150,000	0	150,000	0%	
	3.	更新料	0	0	0	-	
2. 事業収入		0		0	0	-	
	1.	講習会参加費	0	0	0	-	
	2.	その他	0	0	0	-	
3. 雑収入		0		1,262	△ 1,262	-	
	1.	雑入	0	1,262	△ 1,262	-	銀行利息 1,262
当期収入合計		200,000		1,262	198,738	1%	
前期繰越金		2,755,038		2,755,038	0	-	
収入合計		2,955,038		2,756,300	198,738	93%	

科 目	2006年度予算		2006年度決算		増減(△は超過)	執行率	備 考
	款	項					
1. 事業費		370,000		0	370,000	0%	
	1.	講習会開催費	100,000	0	100,000	0%	
	2.	出版物	150,000	0	150,000	0%	
	3.	その他	120,000	0	120,000	0%	
2. 管理費		260,000		600	259,400	0%	
	1.	会議費	50,000	0	50,000	0%	
	2.	交通費	50,000	0	50,000	0%	
	3.	費用弁償費	50,000	0	50,000	0%	
	4.	通信連絡費	50,000	600	49,400	1%	切手 600
	5.	事務費	60,000	0	60,000	0%	
3. 雑費		20,000		0	20,000	0%	
4. 予備費		200,000		0	200,000	0%	
当期支出合計		850,000		600	849,400	0%	
当期収支差額		△ 650,000		662	△ 650,662	0%	
次期繰越金		2,105,038		2,755,700	△ 650,662	131%	

上記2006年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます

2007年7月21日 神津 瑛 印 片山伊九右衛門 印

2007年度 日本歯科色彩学会 認定士委員会予算(案)

2007年4月1日～2008年3月31日

科 目	2007年度予算		2006年度予算		増減(△は減)	増減率(△は減)	備 考
	款	項					
1. 登録料収入		200,000		200,000	0	0%	
	1.	申請料	50,000	50,000	0	0%	10,000×5名
	2.	登録料	150,000	150,000	0	0%	30,000×5名
	3.	更新料	0	0	0	-	20,000×0名
2. 事業収入		0		0	0	-	
	1.	講習会参加	0	0	0	-	
	2.	その他	0	0	0	-	
3. 雑収入		0		0	0	-	
	1.	雑入	0	0	0	-	
当期収入合計		200,000		200,000	0	0%	
前期繰越金		2,755,700		2,755,038	662	0%	
収入合計		2,955,700		2,955,038	662	0%	

科 目	2007年度予算		2006年度予算		増減(△は減)	増減率(△は減)	備 考
	款	項					
1. 事業費		370,000		370,000	0	0%	
	1.	講習会開催費	100,000	100,000	0	0%	
	2.	出版物	150,000	150,000	0	0%	
	3.	その他	120,000	120,000	0	0%	
2. 管理費		260,000		260,000	0	0%	
	1.	会議費	50,000	50,000	0	0%	
	2.	交通費	50,000	50,000	0	0%	
	3.	費用弁償費	50,000	50,000	0	0%	
	4.	通信連絡費	50,000	50,000	0	0%	
	5.	事務費	60,000	60,000	0	0%	
3. 雑費		20,000		20,000	0	0%	
4. 予備費		200,000		200,000	0	0%	
当期支出合計		850,000		850,000	0	0%	
当期収支差額		-650,000		-650,000	0	-	
次期繰越金		2,105,700		2,105,038	662	0%	

各種委員会報告

編集委員会：1か月早くなりました。

【学会誌編集スケジュール変更のお知らせ】

学会誌の充実と質の向上を目指して、投稿規程の改定と、編集スケジュールの見直しを行いました。

その結果、8月の第15回日本歯科色彩学会総会・学術大会の理事会・評議員会・総会で発表しましたスケジュールから、以下の通りに変更させていただくことになりました。

◎ 次号の機関誌「歯科の色彩」の発行スケジュール

2007年10月1日（月） 投稿申し込み 締め切り、

2007年11月5日（月） 原稿締め切り、

複数名の査読後、採否を決定いたします。

12月20日頃 初校出し 年末年始期間に校正

2008年3月に発行 というスケジュールを予定します。

この変更により、研究日程等、影響を被る先生もいらっしゃることは存じますが、なにとぞ深きご理解を賜りますようお願い申し上げます。振るってのご投稿お待ちしております。投稿規程の変更は、項を改めて報告します。

HP委員会

HP委員会は7月21日に鶴見大学学生会館会議室にて開催され、今後のHPのあり方について検討した。

協議の結果、HPの利用頻度、学会の財政的支援、これまでのHPの内容、使用勝手等から鑑みて、今後は、主として普遍的な内容についてHPに掲載し、変更をしなければならない内容はできるだけ控えることとした。しかし、学会開催等の案内、その他必要事項については掲載をしていく方針を確認した。これらの具体的な内容については、今後、HP委員会に一任されたいとの結論を得て常任理事会に上程し、認められた。

講習会委員会

平成19年度日本歯科色彩学会講習会レポート

2007年7月22日（日） 鶴見大学学生会館

本年度より、日本歯科色彩学会講習会は、学術大会時に開催される事となりました。本講習会の目的は、会員の色彩学に対する能力の向上を図るとともに、歯科色彩認定士申請あるいは認定士更新の必用条件を満たすことを目的としています。したがって、受講者は会員、非会員を問わず、色彩学に興味を有している人が対象となります。

本講習会は、必須コース（講習Aと講習Bよりなる）と応用コースを備えています。本年度は、必須コース（講習A）を「色彩の基礎」と題して本学会の副会長であり、カラーランド代表取締役の元呑昭夫氏が、応用コースを「歯科色彩学への挑戦」と題して本学会の前会長であり、明海大学歯学部名誉教授の片山伊九右衛門先生が担当されました。お二人とも本学会を代表するcolor scientistであり、大ベテランですので、内容の濃い講習であり、配布されたプリントも大変好評でした。居眠りをしている受講者はみられず、熱心にメモを取っている姿が印象的でした。

本年度の受講者数は、必須コースと応用コースの両方を受講した者が40名、必須コースのみ受講が5名、応用コースのみ受講が1名でした。受講者総数46名中、非会員は1名のみでした。認定士資格を有する者は23名であり、認定士資格のない会員22名中の16名が、今後認定士資格を取得する予定があると答えました。

受講後の感想文の回収率は、必須コースが40%、応用コースが36.6%でした。両コースともに、よかったとの意見が圧倒的に多く、今回の講習会は事前の予測以上に好評であったと分析しております。

今回は成功裏に終わった講習会ですが、今後の課題も残っております。まず、今回の講習会は、大会本部の全面的な協力がいただけたからこそ実行できたと思っております。桃井大会長および池島準備委員長はじめ、鶴見大学の準備委員会の皆様には、心より感謝申し上げます。結果として、大会本部には多大な負担をおかけ致しました。事前の通知、事前登録、登録料の管理、会場申し込みと当日の会場設営、当日申し込みの対処、講習会受付、受講カード・感想文などの配布と回収—とその負担たるや並大抵の物ではなかったはずですが、私的には、大会準備金以外に講習会補助金も予算に組み込み、初頭から講習会用の事務を担当するアルバイトさんが雇える様にするのも1案ではないかと思っております。

今回は受講者が予想よりも多かったのですが、年々尻すぼみにならない様な工夫が必要です。必須コースも応用コースも毎回受講したくなるように、魅力的な内容を企画致すつもりです。また、受講料も極力安くできないか、可能ならば無料にできないかと検討中ですが、収入のない所に起業は無理という現実もございまして、皆様の御理解と御協力をいただけます様、お願い申し上げます。

来年度は、明海大学歯学部教授の片山直先生と私とが講習会を担当させていただく事になっております。すでに最初の打ち合わせを行っておりますが、今回が大成功ただけに、幾分プレッシャーを

感じております。聞かなくや損する内容を用意致すつもりでおりますので、是非来年度も、岐阜における講習会に御参加ください。

(日本歯科色彩学会講習会委員長 細矢由美子 記)

見学会委員会

モニターやプリンタの色が実際の見た目の色と違っていることはありませんか？

見学会委員会では、11月14日(水) 午後3時30分から(株)ナナオの見学会を企画しました。ナナオの本社・研究所は石川県にありますので、久光会長のお計らいで品川区旗の台の昭和大学病院会議室を用意していただき、機材を持ち込んでいただいていた講習会です。

見学会の内容はモニターの特徴とカラーマネジメントについての解説、ならびにモニターやプリンタのキャリブレーションのデモ、歯科技工所での導入事例の紹介です。最近ではX線撮影もデジタル化されてきています。医療用モニターについても解説していただく予定です。多数の皆さまの参加をお待ちしています。詳しくは折込用紙を見てください。

優秀発表・優秀論文選考委員会

今年度から、優秀発表および優秀論文の選考は、当委員会で行うことになりました。

「歯科の色彩」⑬14巻1号の発行スケジュールは、

2007年10月1日(月) 投稿申し込み 締め切り、

2007年11月5日(月) 原稿締め切り、です。総会通知よりも1か月早くなりました。また学術大会発表は2008年7月27日、岐阜市文化産業交流センターです。奮って応募ください。

認定士審査委員会

認定士新規申請をお待ちしております。申請の条件は毎回発行の雑誌「歯科の色彩」の認定士制度規則および施行細則に詳しく記載しております。

また、更新の方は、認定失効日の1年前から6月前までに申請を行うことになっております。お忘れなく、それまでに申請条件を満たしてください。最初の認定士取得の方は、認定失効日は平成21年7月13日です。

会則検討委員会

会則検討委員会は現在検討中であります。

第14回日本歯科色彩学会優秀発表賞を受賞して

明倫短期大学 木暮ミカ

「彫刻用ワックスの色調の変化による眼調節機能変化について」

このたび、思いがけず大阪における第14回日本歯科色彩学会優秀賞を賜り、大変光栄に存じます。この場をお借りし選考委員の先生方に深く御礼申し上げます。実験に有志で参加してくれた学生達とデータ採取に明け暮れた苦労の日々が報われた気がします。

今回受賞しました発表内容は、「彫刻用ワックスの色調の変化による眼調節機能変化について」というタイトルで口頭発表させていただきました。この研究に関する経過につきまして簡単に述べさせていただきます。

長年歯科技工界で使用されているワックスの色があまりにどぎつく、果たしてこのような色を毎日集中して見続けて、眼の健康(疲労度)に影響はないのだろうかという疑問に思ったのが今回の研究のきっかけでした。周知の通り、歯科用ワックスには、グレー色、ベージュ色、紺色の他、試適時におけるインフォームドコンセント用のエナメル色など、実に様々な色調があります。眼精疲労の軽減には中間色であるグレー色が良いとされていますが、他覚的な検査所見は得られていません。そこで調節微動解析装置を用いて調節微動の高周波成分出現頻度の変化(HFC値)を記録し、調節疲労によって生じた機能変化に色調による差があるのかを調査し、歯科用ワックスの色調の違いによって、眼調節機能の変化に差があるのかと、得られたデータと被験者の使用感・嗜好色との相関について分析しました。その結果、HFC値は黄色、エナメル色、紺色において著しい増加を示したことより、マンセル値 Value9あるいはChroma9以上の高彩度、高明度色は眼精疲労を惹起しやすいという結果が得られました。反面、グレー色が最も疲労度が少なく、心理評定の結果も良好であったことより、微細な咬合面内部の彫刻等の精密作業にはグレー色が適していることがあらためて示唆されました。しかし作業効率には個人の嗜好色と密接な関係があることより、とかく単調になりやすい歯科技工の作業効率の向上には、個人の嗜好色の随時使用による気分転換が有効であるということも、今回の実験より明らかになりました。

今後は今回の受賞に恥じないように歯科の色彩に関する研究を続けるとともに、後輩の育成や社会的活動にも貢献していきたいと考えています。

〔編集部註：優秀賞を受けられた他の2編については、海外留学中などの理由で執筆がいただけませんでした。〕

「歯科の色彩」投稿規定 雑誌「歯科の色彩」13巻1号⑭の96Pに貼り付けて下さい。

1. 投稿は本学会会員に限る。投稿時に入会が可能。筆頭著者は本学会員に限るが、共著者が非会員の場合、掲載が決まった際には非会員に対し別途料金（1編、1名毎）が必要となる。
2. 内容は他の雑誌等に未発表のものに限る。
3. 原稿は次の体裁による。
 - 1) 和文原稿は、A4判、横書き、MS-明朝体、12ポイントで1ページ当たり40字×20行、MS-Wordの原稿とする。英文原稿はTimes New Roman、12ポイントとする。
 - 2) 外国の人名、用語、文献等は原語で書く。専門用語は文部省編の学術用語集または各学会、JISで定めた用語に準じる。度量衡はMKS単位とする。
 - 3) 表紙から参考文献を含めてページ番号を記す。1ページ目には主題、著者名、所属を記載し、希望別刷数（30部まで無料）と原稿枚数を明記する。
非会員が共著者にいる場合には、本ページの末尾に氏名を記す
 - 4) 和文原稿は700字以内の和文要旨と対応する400語以内の英文要旨を添付する。要旨の末尾にそれぞれ5語以内のキーワードを記載する。
 - 5) 英文投稿の場合は和文全文を添付する。
 - 6) 表、図の挿入希望箇所を本文の欄外に朱書きする。
 - 7) 参考文献は本文中に肩番号を付し、引用順に記載する。
 - (1) 雑誌名は、日本医学図書館協会編の日本自然科学雑誌総覧あるいは医学中央雑誌の略記法、外国のものは、Index Medicus中のList of Journals Indexedに準じる。
 - (2) 論文、単行本等の記載は記載例を参照する。
 - 8) 末尾に投稿責任者名と連絡先を記す。
 - 9) 表、図はA4判光沢紙を使用し、投稿責任者名、天地、トレース希望、縮小率、カラーあるいはモノクロ等の要望を各々に明記する。
 - 10) 原稿論文に添付する電子記録媒体はCD-Rとする。本文を含めた全てのデータを記録し、投稿責任者名と主題を明記する。
 - 11) CD-RはMS-Windowsで読み込めるものとし、本文はMS-Wordとする。図はJPEG、PDFとしMS-PowerPointでの提出は極力避ける。表はMS-Excelとする。その他、Illustratorも使用可。
 - 12) 原稿はページ順、表、図の順に綴じて、学会誌巻末の投稿票と裏面のチェック表に必要事項を記したものを添付して、CD-Rとともに書留にて下記まで郵送する。掲載が決まった原稿は、原則的に、電子記録媒体を含め返却しない。
4. 投稿原稿は複数名の査読により採否を決定し、査読担当者の人選および編集は編集委員会に一任する。
5. 掲載が決まった原稿の校正は原則として初校のみとする。この際に大幅な字句の追加・訂正や表、図などの内容変更はしないように留意する。
6. 掲載料と30部を超える別刷の費用は実費負担となる。
7. 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。
8. 本誌に掲載された図表等を他誌に引用する場合には、掲載許諾願いを下記まで提出する。書式は氏名、連絡先、掲載元と引用先が判るように記す。引用した図表等に関しては、出典を説明文に括弧書きで記す。

投稿先：〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1

日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座内 日本歯科色彩学会「歯科の色彩」編集委員会

池見宅司 宛 Tel & Fax : 047-360-9357 E-mail : ikemi.takuji@nihon-u.ac.jp

